会報 100 号 2023 年 8 月 10 日

新型コロナウィルス感染が収束しつつあり、本学会も 2022 年度から対面方式を徐々に取り入れてきました。2023 年秋季大会も大阪大学（豊中キャンパス）での対面方式を軸としつつ、オンライン（ZOOM）とのハイフレックス式にて開催いたします。また、懇親会も再開いたします（基本的に事前予約制）。みなさまにおかれましては、ご無理のない範囲で、会場での参加、あるいは、オンラインでの参加をどうぞよろしくお願いします。

現地での対面参加の場合、大会当日、そのまま会場にお越しください。

オンライン参加の場合、ZOOM ミーティングの URL や注意事項などについては、大会の一週間ほど前にメールで全会員にお伝えします。連絡を確実に行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、学会ウェブサイトの変更申請フォーム https://sfjp-web.net/admission/ にて入力を御願いいたします。

会費納入については、学会振替口座への振込みとなっております（後掲の「会費納入のお願い」を参照）。9 月に年度が変わりますので、2023 年度分の振込をよろしくお願いいたします。

【2023 年秋季大会プログラム（HP にも掲載します）】

日時：2023 年 9 月 9 日（土）
場所：大阪大学（豊中キャンパス）
全学教育推進機構講義 B 棟 2 階
形式：対面＋オンライン会議

一般研究発表　9:20-12:30
発表時間帯
① 9:20-10:00　② 10:10-10:50
③ 11:00-11:40　④ 11:50-12:30
名前に＊の付いている発表者は
オンラインによる発表。

第１部会　B218 教室（司会：①②津崎良典／③④平井靖史）
①竹中利彦　マルブランシュにおける内的感覚による自由の存在証明
②佐々木晃也　スピノザのうちでの変異の問題
③小田切裕史　ベルクソンにおける可能性概念――様相形而上学の観点から
④吉野斉志　ベルクソンとハーバート・ディングル――相対性理論への批判

第２部会　B206 教室（司会：①②小林卓也／③④信友建志）
①浅野修平　前期ドゥルーズの哲学における「方法」の問題
②西川耕平　ドゥルーズ的パースペクティヴィズム――視点と真理
③尾谷奎輔　R・A症例から聞こえてくるもの――フェリックス・ガタリにおける機械概念の生成
④近藤和敬　フランス・エピステモロジーにおける「概念の哲学」の再検討

第３部会　B207 教室（司会：①松葉類／②③郷原佳以）
①押見まり　ジャン・ヴァールの経験論――「超越論的経験論」とは何か
②梁安吉子　遺棄されし者の夜――バタイユ思想におけるパロディの問題
③三ツ谷直子＊　木下杢太郎における象徴主義と芸術――未刊行の詩や戯曲から

第４部会　B208 教室（司会：①②坂本尚志／③④合田正人）
①篠田拓久　ミシェル・フーコーにおける自由の問題とその起源――ビンスワンガーとハイデガーを中心に
②福田肇　ラカンの「実存主義」――ラカンは、キルケゴールの「反復」をどのように読解するか?
③大江倫子＊　デリダ「暴力と形而上学」再考――脱構築への途上
④立花達也　関係に基づいた非-人間的なものへの道徳的地位の付与とその難点――ロボット倫理における応用レヴィナス哲学とレヴィナス

総会　13:30-14:30　B218 教室

シンポジウム「パスカル生誕 400 年に寄せて」　14:45-17:45　B218 教室
日本フランス語フランス文学会との共催
1. 司会：山上浩嗣
三浦伸夫（神戸大学）パスカルの「幾何学序論」
武田裕紀（追手門学院大学）パスカルにおける無限――経験、操作、秩序
2. 司会：武田裕紀
川上紘史（奈良女子大学）視覚イメージに基づくパスカルの説得――「説得的な証拠によって神の印を見せる」
山上浩嗣（大阪大学）「だらしなくふんわりと死ぬこと」――モンテーニュの理想の死とパスカル

懇親会　18 :00-20 :00　大阪大学会館 1 階　アセンブリーホール
会費　5000 円／学生・院生・非常勤職 2000 円
基本的に事前予約制。下記のフォームから入力を御願いします。8/20〆切。
https://docs.google.com/forms/d/1p8bW8qlaaYRyRQwEiA0z4pDmTAuci-IRZi_G4Y39nf8/

【お知らせとお願い】

1. シンポジウム「パスカルとポール・ロワイヤル」（パスカル研究会主催・日仏哲学会共催）
日時：９月８日（金）14:00-18:05
会場：大阪大学豊中キャンパス文法経講義棟 4 階 41 教室（下記サイト中央のキャンパスマップ内 6 番の建物）https://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/access
開催方式：対面とオンライン併用のハイフレックス方式
＊参加費無料。大会の 1 週間ほど前に、オンライン用 URL を日仏哲学会事務局から日仏哲学会会員に送付いたします。

プログラム
14:00-14:05 開会の挨拶　望月ゆか（武蔵大学）
＊基調講演（オンライン）
14:05-14:35　パスカル生誕 400 年を記念して　塩川徹也（東京大学・日本学士院）
＊研究発表（対面）
司会・進行：山上浩嗣（大阪大学）
14 :40-15:20　パスカルにおける「死」の認識と「生」の希望　鈴木真太朗（大谷大学）
15:20-16:00　ベールとニコルにおける教育と無知　谷川雅子（松山大学）
16 :20-17 :10　第一の回心期におけるパスカルの霊性　望月ゆか（武蔵大学）
17:10-18:00　ラムスとポール・ロワイヤルの自由学芸改革―文法・修辞学・論理学―　久保田静香（日本女子大学）
18:00-18:05 閉会　望月ゆか

2. 今後の大会
2024 年春季大会は東京大学駒場キャンパスにて、2024 年 3 月 23 日（土）に開催される予定です。シンポジウムは「カントとフランス哲学」を予定しています。
2024 年秋季大会は東京都立大学（南大沢）にて、2024 年 9 月 7 日（土）-8 日（日）に開催される予定です。学会設立 50 周年の記念大会になります。

3. 『フランス哲学・思想研究』公募論文応募規定の改訂（2023.07.02 にウエブサイトに掲載済）
日仏哲学会編集委員会では、理事会の承認をうけ、公募論文応募規定を改訂しました。最大の変更は、二重匿名査読制を導入したことです。つきましては、機関誌『フランス哲学・思想研究』第 29 号以降、

公募論文の応募をご検討の会員は、規定を熟読のうえ、お原稿をお送りください。ご不明な点は、規定に明記されているメールアドレスより編集委員長・津崎良典までお問い合わせください。https://sfjp-web.net/contribution/

4. 会費納入のお願い

基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000 円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます。下記の学会振替口座から常時お振込みいただけます。

5. メールアドレスご登録のお願い

「会報」はメール添付での発送となっております（後日ウェブサイトで公開)。メールアドレスの変更がありましたら、学会ウェブサイト（https://sfjp-web.net/admission/）での「住所・所属変更申請フォーム」に記載をよろしくお願いします。

【日仏哲学会事務局】
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内
メール：secretariat.sfjp@gmail.com
郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会